

全肢連情報

ZENSHIREN BULLETIN

□編集・発行

一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会

〒171-0021

東京都豊島区西池袋4丁目3番12号

□Publisher ZENSHIREN

TEL: 03-3971-3666

FAX: 03-3982-2913

E-mail: web-info@zenshiren.or.jp

皆様からのニュースのご提供を
心からお待ちしております。

全肢連情報はホームページ「響(ひびき)」でもご覧になれます。URL: <http://www.zenshiren.or.jp>

SNSで障害児・者、肢体不自由児・者の情報交換を *Facebook* <https://www.facebook.com/ZENSHIREN>

平成28年度通常総会(全国会長・事務局長会議)開かれる

去る5月21日(土)、東京都「ハロー貸会議室東京駅前ビル」において、午前中には、平成28年度第1回理事会、午後1時より平成28年度全肢連通常総会(全国会長・事務局長会議)及び平成28年度第2回理事会が開かれた。

総会には47都道府県から79名(委任5県含む)の出席のもとに開会。総会議長に清水誠一会長が選任された後、定足数の確認、議事録署名人の指名が承認され議案の審議に入った。

会議では、平成27年度事業活動・決算報告、平成28年度事業計画・予算(案)、などの全5議題について承認・可決し新年度のスタートが切られた。

また総会終了後、慶應義塾大学経済学部 教授(社会保障審議会障害者部会 部会長) 駒村康平氏をお招きし「今後の障害者福祉施策について日本の社会保障の視点から展望する～制度拡充の戦略～」をテーマに講演会が行われた。

引き続き午後5時30分より情報交換会が開催され、午後7時30分に散会した。

第1号 第48回全国大会(香川大会)報告・決算承認の件

議長の指示を受け、収支決算書に基づき、上野事務局長より報告がされた。引き続き、香川県肢連中山会長からお礼の挨拶が述べられた。本議案については異議なく承認された。

第2号 平成27年度事業活動・収支決算・補助事業報告の件

議長の指示により、上野事務局長から関係資料に基づき、平成27年度事業活動並びに収支決算、補助事業について報告され、収支決算報告では収支計算書に基づき、増減のあった科目について理由が説明された。

主なところは、手数料収入が自動販売機の許認可が撤回された事などから収入減となったことが報告された。

補助事業については、公益財団法人JKA補助事業、社会福祉法人全国心身障害児福祉財団補助事業の事業報告並びに収支決算がそれぞれ報告された。

続いて堀田俊雄監事より監査結果報告として平成27年度事業について活動内容、収支計算ともに公益会計基準に基づき適正に処理されたことが報告された。引き続き、監事意見報告として

①組織運営について

②会計について

の2項目が要望された。

東日本大震災義援金については、残額を有効活用するために九州ブロックに活用を一任、熊本で活用する旨が報告された。また、熊本地震に対する義援金として別途24件で1,403,232円の義援金がよせられた。活用方法、結果については、適宜全肢連情報等で報告される旨説明された。

本議案については全員異議なくこれを承認した。

監 事 意 見 書

一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会
会 長 清 水 誠 一 殿

1. 組織運営について

昨年度は「障害者総合支援法」の施行後3年間の施行状況を踏まえた見直しの基本的な考え方の検討が行われるとともに、合理的配慮を焦点とした「障害者差別解消法」が本年4月1日施行されるなど、障害保健福祉を取り巻く政策は目まぐるしい変化が続いている。

新たな枠組みでの障害者福祉施策が進む中、全国からの意見集約を内閣府障害者政策委員会において河井理事が提言するとともに、清水会長を始め理事各位、会運営の補完機関としての常任委員の積極的な運営の成果があらわれていると感じる。事務局機能としても肢体不自由児者の親の会として中央機関、関係諸団体に向けての発信力、積極的な対応とともに、新たな法人運営に向けての努力がうかがえる。

その一方で事務局における業務量は増加する傾向が続いていることから、事業計画として示された4つの事業指針の具現化に向けて、本年度も各都道府県肢連並びに各ブロック連絡協議会の更なる協力をお願いしたい。

2. 会計について

近年の社会情勢、経済状況は緩やかな景気回復の兆しが見えてきているものの、一般会計の安定的な収入確保には厳しい状況が続く事が予想される。また消費税増税による支出負担増についても配慮していく事が引き続き必要と思われる。

このような現状の中、基本的な財源確保として分担会費の確実な収入と、新たな賛助会員など支援者の発掘、拡充を図られる事を期待する。

また一般社団法人の移行に伴い、より計画的な収支計画が図られる事が必要であるが、状況に応じて事業費並びに管理費の柔軟な遂行の検討を図られ、盤石な事務局体制を維持される事を期待するものである。

追記として、今般の熊本地震に係る義援金については、被災された地域の復興の一助となるよう、関係者の意見を踏まえて有効な活用を期待する。

平成28年5月13日

監 事 堀 田 俊 雄

監 事 阿 部 員 大

第3号 平成28年度定期役員改選の件

議長の指示により、上野事務局長から平成28～29年度役員改選について、各ブロックから推薦された理事候補者を内規に基づき役員選考委員会において選考した旨報告された。

平成28～29年度理事の選任については全員異議なく承認された。

なお、選任された理事の任期は平成28年5月21日付で就任とすることが可決された。理事候補者は全員その就任を承諾した。

ここで総会は暫時休憩を取り、別室にて第2回理事会が開催された。

再開後、新任理事の紹介に続き、理事による互選にて会長に清水誠一、副会長に石橋吉章、植松潤治、常務理事に上野密の各氏がそれぞれ選出されたことが報告された。

＜平成28年度 新理事・新監事名簿＞ (敬称略)

会 長	清水 誠一	理 事	山元 弘道
副 会 長	石橋 吉章	理 事	河井 文
副 会 長	植松 潤治	理 事	(新)石河 不砂
常務理事	上野 密	理 事	(新)御代川 栄子
理 事	箱上 恵吾	監 事	阿部 員大
理 事	秋元 栄一	監 事	(新)中島 哲男
理 事	中神 達二		

第4号 平成28年度事業計画・収支予算・補助事業承認の件

議長の指示により、上野事務局長から一般社団法人定款に基づく目的で4つの事業を柱として実施していくことが述べられた。

平成28年度事業計画（案）及び平成28年度予算（案）、補助事業（案）、全肢連活動指針について実施事業項目ごとに、収支予算の算出根拠を加え説明された。

アステラス製薬の車椅子送迎用車の寄贈については、フライングスター基金より各県から普通乗車と軽乗用車を各1台申請の上限にしてほしいとの説明があった。

管理費は前年度と同様だが、旅費に関しては三役を中心とする役員が組織強化を図るため全国を回る費用として増額となる事などが説明された。

補助事業（案）の主要な事業として、公益財団法人JKAから補助金を受け入れ、指導誌の発行、療育訓練事業、地域指導者育成セミナーの事業を実施することが報告された。療育ハンドブックの執筆並びにセミナーの講師ADRAJapanの渡辺日出夫氏に決定したことが報告された。

さわやかレクリエーション事業については既に決定通知を発送している87カ所の事業内容と期日、助成金の内訳について報告がされた。

本議案については異議なく承認された。

第5号 第49回全国大会（神奈川）事業計画・収支予算承認の件

石橋副会長から第49回全国大会（神奈川）についての現在の参加者数等の進捗報告がされた。また東武トップツアーズからの説明もあった。

福島県から石橋副会長に公開フォーラムでなぜパラリンピックのことを話すのかという質問があった。

香川県からは東武トップツアーズに支部単位で請求したいとの要望があり、茨城県からはどこのホテルが空いているのかわからないかの質問があった。

各質問事項についてはそれぞれ回答が行われ、本議案については全員異議なくこれを承認した。

第6号 その他議案の件

議長の指示により、上野事務局長より下記について、報告がされた。

熊本地震について東日本大震災の際の義援金分配作業と同様に手続きが行うこととされた。午前中の理事会において決定した旨が報告され、速やかに聞き取り調査等を行う事が報告された。

また、4月23日に九州ブロック連絡協議会を通じて熊本県肢連に届けられた見舞金の御礼と報告が中川雅順九州ブロック長より行われた。

本議案については全員異議なくこれを承認し、全議案を承認、可決し、総会は閉会した。

＜熊本地震＞ 障害者のためのトイレカーが活躍

5月24日付福祉新聞より

神奈川県のNPO法人やさしくなろうよ（品田直子理事長）は4月26日から4日間、熊本県身体障がい者福祉センター（熊本市）で、障害者のトイレ支援をボランティアで行った。熊本地震の影響で、多くの障害者が避難しており、150人以上が利用したという。

トイレカーは同法人がいすゞの2トン車「エルフ」と、日産のトン車「アトラス」を改造したもの。いずれも車内は車いすで回れる余裕があり、アトラスにはシャワーも付いている。このトイレは、便槽におがくずが入った「バイオトイレ」。細菌が汚物を分解すると同時に、ヒーターで水分を飛ばす。排気口もあるため、悪臭も少ないという。

トイレカーは、同法人の所在地、神奈川県海老名市と2010年に災害協定を締結。東日本大震災の被災地でも活躍した。また、障害者のスポーツ大会などイベントでも活用されている。

同法人の八木正志さんは「多くの人に感謝され、こちらこそ勇気づけられた。災害時だからこそ、ゆっくりと排せつできる空間を提供できれば」と話している。

◇「第35回肢体不自由児・者の美術展/デジタル写真展」応募作品募集◇

本年度も来る12月の「障害者週間」にちなんで、「肢体不自由児・者の美術展/デジタル写真展」が開催されます。これにともない、応募作品を募集しています。

1. 応募要領＜美術展＞

- ・一人1点に限る。但し絵画、書、コンピューター部門でそれぞれ1点ずつ受付ます。
- ・グループで制作したものは不可。
- ・題(テーマ)は自由です。
- ・未発表のオリジナル作品に限ります。

＜デジタル写真展＞

- ・一人2点以内（本人が撮影したものに限り）

2. 応募作品＜絵画＞

4切りサイズ(38.0cm×54.0cm)以内、但し油彩画はF8号(45.5cm×38.0cm)以内でキャンバスボード(板状のもの)のみでキャンバスは不可。

＜書＞

書道用紙で半紙、半切り1/4縦(八つ切り)、半切1/3、半切1/2、半切2/3、半切、全紙1/2のみでその他不可。(硬筆はB4以内)

＜コンピューターアート＞

B3(51.5cm×36.4cm)以内のこと。

3. 応募締切

平成28年9月23日(金)※当日必着

4. 応募先

社会福祉法人日本肢体不自由児協会 美術展係

〒173-0037 東京都板橋区小茂根1-1-7

☎：03(5995)4511 FAX：03(5995)4515 E-Mail：art@nishikyo.or.jp

▽詳細・応募用紙は下記HPをご参照ください▽

<http://www.nishikyo.or.jp/exhibition/index.html>

◆第51回「NHK障害福祉賞」作文の募集◆～障害のある人と支える人の体験記録～

1. 募集部門 <第1部門>障害のあるご本人の部門。

学校や施設での生活、自立や就労への挑戦、また自分の生きてきた道など、あなた自身の体験の記録をお寄せください。

<第2部門>障害のある人とともに歩んでいる人の部門。

教育・指導の実践、親と子の成長の記録、仕事や行事を通しての交流など、ともに生きてきた体験記をお寄せください。

2. 応募規定

- ・未発表の作品に限る。

- ・著作を職業としている方の応募はご遠慮ください。

- ・字数は8,000字以内。ご自分で書くことが難しい場合、代筆（清書・口述筆記など）でも構いません。

- ・応募要項記載の応募票を記入の上、作品に添付。

3. 応募方法

郵送またはメールフォームからご応募ください。（メールフォームは募集開始日の6月1日にひらきます。）

郵送の場合は応募票に必要事項を記入のうえ、作品に添付してください。

4. 応募先

（社福）NHK厚生文化事業団「障害福祉賞」係

〒150-0041東京都渋谷区神南1-4-1第七共同ビル

5. 募集期間

平成28年6月1日(水)～7月31日(日) ※当日消印有効

4. 問合せ先

（社福）NHK厚生文化事業団「障害福祉賞」係

☎：03(3476)5955

▽詳しくは「NHK障害福祉賞」HPをご参照ください▽

<http://www.npwo.or.jp/info/2016/51fukushi.html>

◆第22回「NHKハート展」詩の募集◆ ～詩からアートへ ともに生きる～

1. 応募規定

- ・障害のある人が書いた100字程度(短くても可)の詩。

- ・詩のテーマは自由。必ずタイトルをつけてください。

- ・自作未発表(インターネット等も含む)の詩に限る。

- ・応募は一人5編まで。点字による応募可能。

2. 応募方法 規定の応募用紙またはA4サイズの内紙
3. 応募先 〒150-0041東京都渋谷区神南1-4-1第七共同ビル
NHK厚生文化事業団「NHKハート展」係
4. 応募締切 平成28年9月9日(金) ※当日消印有効
5. 問合せ先 NHK厚生文化事業団「NHKハート展」係
☎：03(3476)5955（平日午前10時～午後16時迄）
E-Mail info@nqwo.or.jp
▽詳しくは「NHKハート展」HPをご参照ください▽
<http://www.npwo.or.jp/info/2016/22nhk.html>

◇「アクセシビリティ サポートガイド基礎編（案）」に関する意見募集

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、東京2020大会が、障がいの有無に関わらず、すべての人々にとってアクセシブルでインクルーシブな大会となるよう様々な取組みを推進しています。

今般、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会では、大会におけるスタッフ・ボランティア等によるサポートの基礎的な内容について、障がい当事者団体を含む幅広い関係者の参画のもと「アクセシビリティサポートガイド基礎編（案）」を作成しました。この「アクセシビリティサポートガイド基礎編」は、大会を契機とした「心のバリアフリー」の拡充に向け、組織委員会にとどまらず、自治体や幅広い業界(※)において自主的に活用、応用されることを想定しております。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会では、この案についてのご意見を下記の通り募集しています。

※ 公共交通、小売サービス業等、大会来場者へのサービスの提供を行う業界を想定

▽アクセシビリティサポートガイド(基礎編)については下記HPにて掲載されています▽

<https://tokyo2020.jp/jp/other/20160527-01.html>

1. 募集期間 平成28年5月27日(金)～6月8日(水) 12:00まで
2. 提出方法 提案様式 (HPにて入手可能)に必要事項を入力し、メールに添付してお送りください。
3. 提出先及び問合せ先
公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
大会準備運営第一局パラリンピック統括部
E-Mail : acsguidelines@tokyo2020.jp

※件名は、「アクセシビリティサポートガイド基礎編(案)に関するご意見」としてください。

平成28年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者 表彰候補の推薦について

内閣府からバリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的とするバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者の推薦依頼がきました。

1. 目 的

この表彰は、高齢者、障害者、妊婦や子ども連れの人を含む全ての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を顕彰し、もって、バリアフリー・ユニバーサルデザインに優れた取組を広く普及させることを目的とする。

2. 表彰の対象

バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に関して、施設の整備、製品の開発、推進・普及のための活動等において、極めて顕著な、又は特に顕著な功績又は功労のあった個人又は団体。

3. 表彰の方法

表彰状及び記念品。

4. 表彰の時期

表彰は、年1回行う。

▽詳細については内閣府HPをご参照ください▽

<http://www8.cao.go.jp/souki/barrier-free/bf-index.html>

*熊本地震義援金 受領のご報告

このたびは、熊本地震義援金を賜り誠にありがとうございました。

皆様方の暖かいご支援に、心より厚く御礼申し上げます。

※ご送金いただきました御名義で掲載しております。

吉岡 羊子様	5月12日	¥10,000-
石川県肢体不自由児者父母の会連合会様	5月17日	¥13,000-
堺市肢体不自由児者父母の会 代表者 玉木 實千代様	5月20日	¥100,000-
藤沢市肢体不自由児者父母の会様	5月24日	¥6,500-
墨田区肢体不自由児者父母の会様	5月25日	¥30,000-
千葉県肢体不自由児者父母の会連合会様	5月27日	¥100,000-
名古屋市肢体不自由児者父母の会様	5月30日	¥100,000-
合 計		¥359,500-

県肢連便り

会長・事務局長交代のお知らせ

○茨城県肢体不自由児者父母の会連合会

前：会長 堀田 俊雄氏 → 新：会長 御代川 栄子氏（平成28年5月20日付）

○（一社）東京都肢体不自由児者父母の会連合会

前：会長 高橋 勝幸氏 → 新：会長 河井 文氏（平成28年5月24日付）

事務局次長 上野 賢氏 → 新：事務局長 上野 賢氏（平成28年4月9日付）

○香川県肢体不自由児者と父母の会連合会

前：会長 中山 節子氏 → 新：会長 三谷 美代子氏（平成28年5月31日付）

事務局からお知らせ

アステラス製薬「フライングスター基金」推薦書提出について

平成28年5月23日に各都道府県宛に通知いたしました通り、今年度もアステラス製薬「フライングスター基金」より車いす送迎車が贈呈されることとなりました。

推薦先施設がある場合、指定の推薦書に必要事項記入の上、全肢連事務局に送付願います。

◆送付期限：平成28年6月24日（金）17時 全肢連事務局 推薦書原本必着

6月の行事予定

1日(水)	全肢連第2回常任委員会 全国特別支援教育推進連盟連絡会議	東京在宅サービス
4日(土)～5日(日)	第51回東海北陸ブロック富山大会	ホテルグランテラス富山
10日(金)	おもちゃの図書館全国連絡会ボランティアの集い	東京臨海広域防災公園
16日(木)	第7回JICA・J-ファウンデーション@北海道	コカ・コーラ環境ハウス
18日(土)～19日(日)	東北ブロック地域指導者育成セミナー	いこいの村 岩手
24日(金)	日本おもちゃ図書館財団評議員会	日本おもちゃ図書館財団
28日(火)	「いずみ」145号発行	